

くしろ市議会だより

News from Kushiro City Assembly



くしろ市議会だより

2024年11月 No.85

委員会審査ピックアップ1P
本会議(質疑・一般質問) ...2~3P
委員会審査ほか3P
定例会審議結果ほか4P

くしろの市民の皆さんと
くしろ市議会の
懸け橋となる情報紙



令和6年9月定例会が開催されました。今議会の概要をお伝えします。

Pick Up!

令和5年度の市の決算を認定



予算決算常任委員会 経済建設分科会 書類審査
(担当職員から事業内容などの説明を受けている様子)

予算決算常任委員会

松橋 尚文 委員長

今定例会の予算決算常任委員会は、補正予算に関する審査のほか、令和5年度の決算に関する審査を行いました。

【補正予算審査の主な項目】

- ・中心部のにぎわい創出に向けた学生間の交流イベントの実施内容
- ・移住定住・長期滞在促進に係る市独自の取り組み
- ・西港区石油栈橋におけるしゅんせつ工事
- ・阿寒湖のマリモ展示観察センターにおける利用料金収入および支出額の見込み
- ・医師確保対策事業における新規開設クリニックの体制および今後の見通し
- ・寝たきり高齢者等移送サービスの見直し(拡充)

今回は各分科会の決算審査の中から注目する内容を紹介します。

Pick Up 1

市独自の政策展開にk-Bizとの連携を

総務文教 分科会

Q 移住定住・長期滞在促進事業など釧路市の特性を生かした独自の政策展開に関し、地元の専門的な知見を持つ人材がいるk-Bizと連携し、進めていくことを提案したい。k-Bizの力を借りて、市の魅力を国内外に戦略的に発信していくことで、新規の長期滞在者の誘致や、産業面においても企業誘致や新産業の創出につながるのではないかと。

A 市の政策における専門的な人材の活用については、全般的には市の顧問である小磯修二教授の、個別の分野では、政策アドバイザー、DXアドバイザーなどの提案を受けながら取り組みを進めている。k-Bizは創業以来、地元事業者の相談所として非常に高い実績を上げており、さまざまな事業を展開しているところである。今後、地元経済を盛り上げていくためにk-Bizとも相談して早期に取り組んでいきたい。

Pick Up 2

道路照明灯の間引き点灯の見直し検討を

経済建設 分科会

Q 市は財政健全化に向けた取り組みの一環として、平成18年度から令和8年度の期間で道路照明灯の間引き点灯と点灯時間短縮を実施しており、令和5年度末現在、道路照明灯の設置数8,700灯のうち間引き灯数が609灯、時間短縮灯数は401灯となっている。この状況に対し、地域住民からは「道路が暗く感じる」という意見や、財政健全化の進展に伴い間引きの見直しを求める声が寄せられているが、期間を前倒しての間引き中止や間引き灯数の減少を検討する考えはあるか。

A 現在、令和8年度までの財政健全化プランを実施しており、その期間中はこれまで通りの方針で進めていくが、市民からの要望も考慮し、令和9年度以降の節電に関しては政策的な判断が必要となるため、庁内の関係各課と協議し検討を進めていきたい。

Pick Up 3

ちびっこマンデーの利用サービスの拡大を

民生福祉 分科会

Q 現在、月曜日に開催されているちびっこマンデーの開催日を増やし、駐車料金を無料にするなど、サービスの拡大を図ってほしい。

A 3月に実施した子育て支援に関するニーズ調査でも、開催日の拡充や時間の延長について多くの意見が寄せられていた。今後は、月曜日を含め、週3回に拡大し、日曜日についても、試行的に月に1回程度、実施するよう考えており、この冬の間に開始できるよう進めていきたい。また、駐車料金に関しては、現在はMOOの店舗で500円以上買い物をすれば3時間無料としており、店舗にとってもプラスであると考えているが、今後、指定管理者と駐車場の仕組みなどについて、どのようにしていくかを含め、この冬の実施に間に合うよう、スピード感をもって協議していきたいと考えている。

次回の12月定例会は12月5日(木)午前10時から開会の予定です。

発行/釧路市議会 編集/議会広報特別委員会 釧路市黒金町7丁目5番地 Tel.31-4581 Fax.23-7679 E-mail: gi-gikai@city.kushiro.lg.jp



ホームページ

<https://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html>



フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/kushiroshigikai>



Instagram

<https://www.instagram.com/kushiroshigikai>

本会議

質疑・一般質問

■議員18名が、付託議案や「市の一般事務」について、日頃から感じている疑問や、新たな行政課題への対応など、それぞれの視点でテーマを決めて質問しました。

9月4日(水)

市民連合
板谷 昌慶
議員

「タブレット端末を活用した児童生徒の自殺リスクの把握を」

問 学校での児童生徒の自殺対策として、タブレット端末で心の健康観察アプリを活用し、学校全体で情報共有することで、SOSの早期発見、対応につながると考えるが、市として今後取り入れる考えはあるか。

答 児童生徒が使用するタブレット端末は心の健康観察ができる機能を備えているが、現在は使用が進んでいない状況である。今後、教育委員会が中心となり、心理の専門家などの指導助言をいただきながら、市内の各校における体制を整備し、活用を促していきたいと考えている。

公明党
松原 慶子
議員

「SAF事業の展開に市の協力を」

問 ^{※1} SAFは、従来のジェット燃料に比べ約60～80%のCO₂削減効果があるとされる。SAFの原料の一つは木質バイオマスであり、日本製紙工場跡地に設立予定の製材会社の稼働に伴い発生する大量の木材チップが利活用できると考える。工場跡地の機械利用も含め、市がSAF事業展開のつなぎ役となることを要望する。

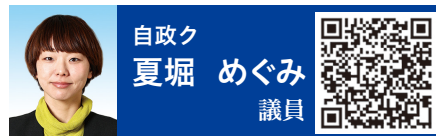
答 木質バイオマスの活用は、国内最大級の製材工場は規模において適している。今後、工場進出に伴う技術面や学術面などのさまざまな動きを踏まえながら事業が展開されていくことを期待している。

共産党
小山 秀人
議員

「地域ブランド力の向上に向けた取り組みは」

問 観光振興を推進するため、地域ブランド力を高めることや、地域の魅力を市民と共に認識することが大事だと考えるが、市の取り組みを示してほしい。

答 観光地としての魅力を高めるためには、市民も釧路の良さを知り、関わりを持つことが大切な視点である。市民団体によるクルーズ船寄港時のおもてなし事業をはじめ、市内小中学校などを対象とした市の観光に関する講話などの取り組みを実施しており、「おもてなし」の向上に向けた取り組みを進めている。

自政ク
夏堀 めぐみ
議員

「阿寒湖温泉地区における子どもの遊び場や居場所の確保を」

問 阿寒湖温泉地区は、放課後児童クラブに相当するものとして阿寒湖温泉子供交流館があるが、両者の間には、子どもの遊び方等の選択肢に違いがある。阿寒湖まりむ館と併せて2施設一体的に児童館機能として提供し、多目的ホールを開放するなど、子どもの遊び場や居場所の選択肢を増やしてはどうか。

答 阿寒湖温泉子供交流館は、18歳未満の全ての児童が利用できる地域の交流拠点として設置された屋内型の施設であり、放課後児童クラブの機能を持たせることは難しい。阿寒湖温泉地区での同クラブの機能の確保に向けては、関係部署と協議を進めていきたい。

市民連合
岡田 遼
議員

「保育士確保対策の検討を」

問 資格はあるが、保育士として働いていない潜在保育士の発掘や、再就職の支援に向け、「保育士等再就職コーディネーター」を配置し、マッチングやサポート体制等を展開できる事業の構築を検討すべきと考えるが、市の見解を示してほしい。

答 潜在保育士の発掘や、再就職の支援は、保育士の確保対策として有効な方策の一つであると認識している。保育関係者との意見交換や、釧路市子ども・子育て会議において、保育士確保対策の協議を行いながら、再就職の支援等についても効果的な事業内容の検討を行っていききたい。

公明党
河合 初恵
議員

「生ごみ処理機『キエーロ』を助成金の対象に」

問 「キエーロ」は、水切りが不要で生ごみ臭もなく、可燃ごみを出さないため、ごみの減量化に適している。自らも使用中で実感しており、「キエーロ」を助成金の対象にすべきと考える。市で実証実験を行っていたが、実験結果から得た有効性と課題を示してほしい。

答 冬期間において分解速度が遅くなるというマイナス面はあるが、通年において一定のごみ減量の効果が確認された。現在助成対象としている生ごみ処理機にもメリット・デメリットがあり、これまでの事業の効果や検証と併せ、「キエーロ」の助成支援についても検討していきたい。

共産党
西村 雅人
議員

「福祉灯油の実施を」

問 福祉灯油は寒冷地にこそ必要な事業であり、自治体が主体的に実施すべきものとする。今年は何としても福祉灯油を実施してほしいと考えるが、市の見解を示してほしい。

答 国においても、低所得者を対象とした給付金の支給や、地方経済や低所得世帯に即効性の高いエネルギー補助として、灯油を含む燃料油価格の激変緩和措置の期限を年末まで延長するなどの支援策を講じてきた。今後、国ではさらなる物価高騰対策を講じる予定であるため、市としても、動向を注視し、必要に応じて対応していきたい。

自政ク
齋藤 賢之
議員

「日本版ESTAの導入に向けた働きかけを」

問 ^{※2} 電子渡航承認システムESTAは、申請者の犯罪歴やオーバーステイなどをスクリーニングできる手段で、我が国での導入が期待されている。同システムは適格な外国人材の来日に寄与するものであり、関係省庁への働きかけを要望するが、見解を示してほしい。

答 渡航者の適格性の判定や安全保障の審査をする手法の導入は、国の出入国管理行政として実施すべきものと認識しており、国において適切に対応されるべきものとする。本年6月に、関係閣僚会議があり、「電子渡航認証制度」の導入を盛り込んだ総合的対策が改訂されたと伺っている。

9月9日(月)

共産党
村上 和繁
議員

「宿泊税に非課税枠の設定を」

問 宿泊税の1泊200円という額は、少しでも安価な宿泊場所を探しているビジネス客にとっては軽い負担ではないと考える。宿泊税を先行実施している東京都や大阪府では宿泊税に非課税枠を設けているが、なぜ一律1人1泊につき200円とするのか。

答 観光地としての魅力やサービスの向上、公共交通の利便性向上や、キャッシュレスの導入支援といった受入環境の充実など、さらなる整備のために年間3億円ほど必要になることから、200円を税額として設定した。また、事業者に考慮し、制度を複雑なものとしないうえ、一律の定額課税としている。

自政ク
伊東 尚悟
議員

「子育て世帯の働きやすい環境整備を」

問 釧路市の待機児童数は0名とされているが、自分が希望する保育園に入所できない潜在待機児童は毎年50～60名ほどいるのが現状である。この問題を、「釧路市子ども・子育て支援事業計画」に位置付け、抜本的な対策に当たるべきと考える。

答 保育定員の拡充などを行っているが、入所希望者が増加していることや、自宅や勤務先に近い保育施設を希望する人が多いことから、潜在待機児童の解消に向けて、まずは、子育てサポートセンター・すくすく事業を検討課題とし、使い方などの議論を深めながら、制度設計をしていきたい。

創志会
松尾 和仁
議員

「栄町平和公園B面の活用方策の検討を」

問 栄町平和公園B面は、中心市街地にある貴重なオープンスペースだが、その立地の良さを生かしきれていない。日常的にぎわいの創出に向けて、位置付けを明確にし、活用方策を検討すべきと考えるが、市の見解を示してほしい。

答 栄町平和公園B面は、国から無償貸し付けを受けている土地であり、貸し付け条件等の制約があるが、今後、条件緩和の協議や、他都市の事例について情報収集を行い、どういった利活用の手法があるかを含め検討を進めていきたい。

共産党
梅津 則行
議員

「12月2日以降の保険証廃止に係る対応は」

問 現在、マイナンバーカードを保有していない、またはカードを持っても保険証登録をしていない市民が試算では6万人を超える。また、加入者により保険証の有効期限に違いがあることから、保険証の廃止に関しては、一人ひとりの状況に合わせた対応を求めるが、市の見解を示してほしい。

答 保険証の廃止に関しては、保険証の発送時に同封する国保だよりへの掲載やチラシなどにより、周知啓発を行っている。継続して行うことが重要と考えており、その他の周知啓発についても検討していきたい。

② 議員名の右に掲載しているQRコードから、スマートフォン等により録画中継をご覧ください。

※の用語解説は4面に掲載しています。



市議会ホームページで発言通告一覧をご覧ください。



9月5日(木)



創志会
五十嵐 誠
議員



「旧日本銀行釧路支店の利活用に関する進捗状況は」

問 本年2月の市政方針演説で、旧日本銀行釧路支店の利活用に向けて、具体的な活用を見据えた担い手を広く民間事業者から募ることを表明していたが、現在までの進捗状況を示してほしい。

答 令和3年度に活用に係る提案募集を行い、市内外の皆さまから56件の提案があった。その後、不動産鑑定士からの意見などを踏まえ、土地は市が所有して賃貸し、建物は無償譲渡する方針で広く民間事業者から活用提案を募集することとした。早ければ11月中旬に募集を開始し、来年5月頃に事業者を選定、令和7年度中に無償譲渡に係る議案を提出したいと考えている。

9月6日(金)



創志会
大越 拓也
議員



「釧路警察署・釧路方面本部の愛国地区移転計画と中心市街地への影響は」

問 釧路警察署の移転計画は、地域経済や市民生活への影響も慎重に考慮すべきであり、釧路市新橋大通商店街振興組合が署名活動を行っているように、中心市街地の空洞化や商業活動の縮小が懸念される。移転が「コンパクトシティ」推進に反する可能性や、署名活動を含めた市民の声をどのように受け止め、行政として対応策を講じるつもりか。

答 移転がコンパクトなまちづくりの方針に必ずしも反するとは考えていない。署名活動は、地域の活性化に向けた地域の方の思いであると重く受け止めている。この思いを踏まえながら、地域の活性化をどう進めていくかを共に考えていきたい。



無所属
木村 隼人
議員



「新型コロナワクチンに関する分析を」

問 札幌市の情報公開に基づき作成した、新型コロナワクチン最終接種日から10日未満の死亡者内訳によると、接種当日が9名、接種翌日が66名、接種2日後が85名、接種後10日未満の累計が935名である。これらの数字はワクチンが直接の死因であることを示すものではないが、注目に値するため、専門家による慎重な検証が必要と考える。釧路市も同様の分析を実施する必要があると考えるが、見解を示してほしい。

答 札幌市は情報公開請求に基づきデータを公開したものであり、分析したものではないことから、当市として見解を示すことはできない。



公明党
松橋 尚文
議員



「市営住宅に宅配ボックスの設置と一般住宅等に向けた設置支援を」

問 市内の宅配事業者への調査では、再配達率が10%～15%発生しているとのことであった。再配達を減らすことはCO₂削減につながることから、市営住宅への宅配ボックスの設置と、住宅エコリフォーム補助制度への項目追加を提案するが、見解を示してほしい。

答 環境負荷低減の観点から、新築する住棟への設置を視野に入れ研究を進めている。既設住棟への共用部設置については、設置スペースの必要があることから慎重に検討したい。また、一般住宅等への設置支援については、国が補助制度を設けているため、制度内容の周知に努めている。



自政ク
山口 光信
議員



「まちづくりに関する意見交換の場を」

問 市では、北海道による鉄道高架に向けた動きに合わせ、まちづくりとして市民文化会館や子育て支援センターなどの公共公益機能を中心部へ誘導することを検討しているが、市民ワークショップや委員会等で提示し、意見交換をするべきと考える。市の見解を示してほしい。

答 駅周辺に誘導する公共公益機能については、庁内関係部署との連携を強化し、どのような施設を中心部に移設するのかということを検討していきながら、その結果については、特別委員会等で情報共有を行いたいと考えている。



自政ク
草島 守之
議員



「国の特別天然記念物『阿寒湖のマリモ』の保全に関する現況と課題は」

問 阿寒湖のチュウレイ湾における、マリモの破損や劣化、生息域の縮小について、マリモの成長を阻害している要因が水草の繁茂にあるとし、2018年より水草の除去を進めているが、マリモ保全の現況と課題を示してほしい。

答 これまで、各種調査を行うとともに、水草の除去を実施してきた。さらに、今年度から4ヶ年の緊急調査事業に着手した。また、地元住民からの要望・意見を受け、前マリモ研究室長が調査した結果、水草除去の確実な実施により、マリモの回復が期待できるとの報告を受けた。今後も「阿寒湖のマリモ」の保全には、しっかりと取り組んでいきたい。

委員会審査

今定例会では、予算決算常任委員会と3常任委員会および2特別委員会の審査を行いました。
1面に掲載した委員会以外の審査内容をお知らせします。

総務文教常任委員会

松尾 和仁 委員長

※3

「**学びの多様化学校に配置する教職員の選定は**」

Q 令和8年度から開校を予定している学びの多様化学校について、どのような教員・支援員を配置するかは非常に重要な点だと考える。選定について市としての方向性を定めているのか。

A 学びの多様化学校は、不登校の生徒が対象となるため、学習面の指導もさることながら、生活指導など子どもを理解する上で実績のある教員を中心に選定することを考えている。今後、全国の学びの多様化学校の事例等を情報収集しながら、最適な教職員をそろえられるよう、北海道教育委員会とも協議していきたい。

経済建設常任委員会

河合 初恵 委員長

「**市営住宅の随時募集の開始について**」

理事者から「釧路・阿寒・音別地区の市営住宅で長期空室となっている住宅の入居促進のため、今年度から随時募集を開始した。対象は、定時公募を経ても応募や入居登録者がいない市指定の修繕済み住宅で、申し込みは先着順、窓口での対面受け付けとした。定時募集とは異なり、単身世帯でも間取りや面積の要件によらず申し込みが可能である。この募集は8月1日に告示し、計25戸の詳細情報を市ホームページやSNS等で周知している。釧路地区はすでに全戸入居が決定し、現在は阿寒・音別地区で募集を継続している。今後も、住宅が用意でき次第、随時募集による入居促進を進めていく。」との報告がありました。

民生福祉分科会

岡田 遼 委員長

「**釧路市社会福祉協議会音別支所の移転に伴う機能集約の効果は**」

Q 釧路市社会福祉協議会音別支所の移転に伴う機能集約の効果や課題は何か。

A 音別町保健福祉センターを改修し、同センター内に音別町社会福祉協議会音別支所が集約されることにより、これまで分散していた各種機能や窓口の一元化が図られ、地域住民の利便性や、サービスの質の向上等の効果が期待できる。また、音別町社会福祉会館では貸館業務を行っているが、使用している町内会に説明を行ったところ、今後は主におんぼーとを利用するとのことから同館の廃止には問題はなく、ぜひ機能集約をしてほしいという声が多いことから、課題はないと考えている。

石炭対策特別委員会

山口 光信 委員長

「**石炭の生産状況は**」

Q 釧路コールマイン(株)における石炭の生産状況について、今年度の生産量は昨年度の同時期に比べて減少しているが、1年間を通すと例年通りの生産量になるのか、それとも例年よりも減少した生産量になるのか。

A 生産量については、現在の採炭区域が終了し、新たな採炭区域へ移動するため坑道の修復作業を行っていることから、一時的に減少している。釧路コールマイン(株)からは、坑道の修復作業が終了した際には、各月の生産量は徐々に戻っていくと聞いている。

都心部市街地整備特別委員会

伊東 尚悟 委員長

「**防災の視点も含めた駅周辺まちづくりの検討を**」

Q 駅周辺ににぎわいを創出するための施設や環境づくりについて検討しているが、防災の視点が失われていると感じる。防災に関して、どのような考え方を盛り込みながら議論を進めているのか、また、人々が集まるところには避難施設をしっかりと備えることが基本と思うが、市の見解を示してほしい。

A 市街地を分断している鉄道を高架化し、南北の行き来をよくすることで避難をしやすいするなど、防災の視点も含めて検討してきた。将来の、駅周辺への避難施設の整備等については、引き続き、津波緊急避難施設の指定状況等も踏まえながら、庁内関係課と協議を進めていきたい。

会派略称説明

自 政 ク

自民市政クラブ

創 志 会

創志会

公 明 党

公明党議員団

市 民 連 合

市民連合議員団

共 産 党

日本共産党議員団

釧路公立大学の皆さんと意見交換を行いました

令和6年7月17日(水曜日)、議会広報特別委員会が中心となり、釧路公立大学千田航准教授の授業の一環として経済学部1年生の皆さん38名と意見交換を行いました。

当日は、市議会の概要説明を行った後、グループに分かれて、自由な形で意見交換し、終了後のアンケートでは、学生の皆さんからは、「市議会議員が身近になった」という感想や、市への要望などが寄せられ、議員からは、「市外出身の方から他の地域の取り組みが聞け、意見交換会の継続の重要性を感じた」などの意見が出されました。



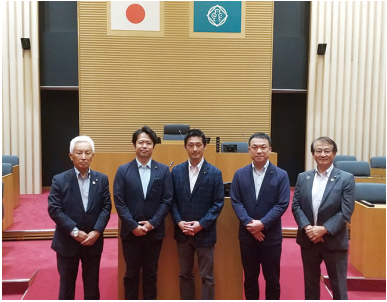
姉妹都市親善訪問

8月7日(水)から9日(金)の日程で金安潤子議員、松原慶子議員、小山秀人議員の3名が秋田県湯沢市を、8月20日(火)から22日(木)の日程で山口光信議員、木村隼人議員、木村勇太議員の3名が鳥取県鳥取市を公式訪問し、両市の市長と市議会の正副議長への表敬訪問などを行いました。

姉妹都市である両市との交流を通じて友好の絆と相互理解を深め、今後も末永く交流していくことを確認しました。



湯沢市議会表敬訪問



鳥取市議会表敬訪問

経済建設常任委員会
市内視察

経済建設常任委員会は、9月12日(木)に株式会社k-Hackを視察しました。k-Hackは釧路市などの出資により設立されたIT企業で、新規事業を立ち上げるスタートアップ人材の育成に力を入れています。同社は全国初の官民連携による高度プログラミング請負会社として、将来的には釧路市の多様な課題を解決するスタートアップ人材の継続的な輩出が期待されています。



令和6年第4回9月定例会審議結果

◎全会一致で可決(認定・同意)となったもの(27件)

市 長 提 出		議 案	
予 算	令和6年度 一般会計補正予算(議案第77号)	そ の 他	損害賠償の額の決定等に関する件(議案第87号)
	令和6年度 介護保険特別会計補正予算		損害賠償の額の決定等に関する件(議案第88号)
	令和6年度 魚揚場事業特別会計補正予算		市民活動センターの指定管理者の指定の件
	令和6年度 動物園事業特別会計補正予算		福祉部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	令和6年度 病院事業会計補正予算		産業振興部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	令和6年度 水道事業会計補正予算		観光国際交流センター及び幸町緑地の指定管理者の指定の件
	令和6年度 一般会計補正予算(議案第107号)		水産港湾空港部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
決 算	令和5年度 病院事業会計決算認定の件	そ の 他	市営住宅の指定管理者の指定の件
	令和5年度 工業用水道事業会計決算認定の件		都市整備部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
	令和5年度 下水道事業会計決算認定の件		音別町社会福祉会館の指定管理者の指定の件
	令和5年度 公設地方卸売市場事業会計決算認定の件		生涯学習部の所管する公の施設の指定管理者の指定の件
条 例	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	人 事	教育委員会委員の任命について同意を求める件
そ の 他	訴えの提起の件		公平委員会委員の選任について同意を求める件
議 員 提 出 議 案			
意 見 書	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書(提出先:経済産業大臣、国土交通大臣)		

◎賛否が分かれたもの(8件)

○賛成 ×反対

市 長 提 出		議 案						
件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※1	創志会(4)※1	公明党(5)	市民連合(4)	共産党(4)	会派無所属議員(1)	審議結果
決 算	令和5年度 各会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	認 定
	令和5年度 水道事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	認 定
	令和5年度 港湾整備事業会計決算認定の件	○	○	○	○	×	○	認 定
条 例	国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	○	可 決
	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議の件	○	○	○	○	×	○	可 決
議 員 提 出		議 案						
意 見 書	新型コロナウイルス感染症に対する経済的な負担軽減を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)	○	○	○	○	○	×	可 決
	国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣)	○	○	○	○	×	○	可 決
	訪問介護の基本報酬引下げの早急な見直し等を求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣)	×	○	×	○	○	○	可 決※2

◎請願・陳情(1件)

○採択 ×不採択

件 名	会派名[()内は議員数]	自政ク(8)※1	創志会(4)※1	公明党(5)	市民連合(4)	共産党(4)	会派無所属議員(1)	審議結果
陳 情	所得税法第56条の廃止を求める意見書の件	×	×	×	×	○	○	不採択

※1 自政クの議員数は9人ですが、うち1人が欠席したため8人としています。また、創志会の議員数は5人ですが、畑中議長が採決に加わっていないため4人としています。

※2 賛成と反対の議員数が同数のため、議長裁決により可決となっています。

用語解説

※1 SAF(公明党 松原議員)2P

「Sustainable Aviation Fuel(持続可能な航空燃料)」の略称で、廃食油、サトウキビなどのバイオマス燃料や、都市ごみ、廃プラスチックを用いて製造される航空燃料。

※2 電子渡航承認システムESTA(自政ク 齋藤議員)2P

アメリカ合衆国が導入した電子渡航承認システムの名称であり、国内に渡航しようとする外国人に、身分事項、渡航目的、国内での活動内容等をインターネット上で申告させ、渡航承認を行うシステム。

※3 学びの多様化学校(総務文教常任委員会 松尾委員長)3P

不登校児童生徒の実情に配慮し、特別の教育課程を編成することができる学校。